

平成 27 年度老人保健事業  
推進費等補助金(老人保健  
健康増進等事業)報告書

認知症介護基礎研修、実践研修等のあり方  
およびその育成に関する調査研究事業  
報告書

平成 28 年 3 月

社会福祉法人東北福祉会  
認知症介護研究・研修仙台センター

## はじめに

社会福祉法人東北福祉会  
認知症介護研究・研修仙台センター  
センター長 加藤伸司

認知症は、85歳以上の人の4割以上に出現することが知られており、高齢者にとっては身近な疾患である。しかし、たとえ認知症になったとしても、一人の人間として安心、安全に尊厳をもって自分らしく生きていくためには、周囲の適切なサポートは欠かせない。特に認知症の人や介護家族が質の高い生活を送っていくためには、生活をサポートする介護従事者が、専門的な知識や技術を有し、あらゆる場面で適切なケアを提供できなければならない。

しかし、近年増加し続けている高齢者虐待の問題は深刻であり、在宅における虐待の増加だけではなく、平成26年度には、施設・事業所等における虐待の相談・通報件数が1,120件と8年間で4倍に増えているのが現状である。また養介護施設従事者による虐待の発生要因で最も多いのは「教育・知識・介護技術等に関する問題」であり、これが6割以上を占めていることを考えると、介護従事者に対する知識や技術の教育は、急務といえるだろう。

認知症ケアの専門研修である認知症介護実践者研修、実践リーダー研修、指導者養成研修は、2001年度から開始されており、その後2006年度に見直され、2014年に再度見直しが行われてきた。特に2014年度の改訂案では、認知症介護実践者等養成研修を高度な認知症ケアスキルを有するスペシャリスト養成を目指す段階的研修として位置づけ、認知症介護実践者研修及び認知症介護実践リーダー研修に関しては、科目ごとのシラバス案と、カリキュラム案が作成され、それに合わせて認知症介護指導者養成研修のカリキュラム改訂案も作成された。また介護現場で認知症の基礎知識を有していない介護スタッフが多いことを解消するために、6時間で受講できる認知症介護基礎研修のプログラムが作成された。今後はこれらの研修を実施することによって質の高い認知症ケアを提供できる人材が増えていくことが望まれる。施設・事業所、居宅系のケア現場で質の高いケアが提供され、認知症の人と介護家族の生活の質が向上していくことを祈念したい。

平成 28 年 3 月

# 目 次

はじめに

## I. 研究事業の概要

---

1. 目的	1
2. 実施体制	2
3. 主な活動日程と内容	4
4. 認知症介護基礎研修の創設と認知症介護実践研修カリキュラム改訂の経緯	6

## II. eラーニング教材開発とシステムの構築

---

1. eラーニングの採用	11
2. eラーニング教材開発	12
3. eラーニングシステムの構築	17

## III. 認知症介護基礎研修・認知症介護実践研修標準カリキュラム等説明会の実施

---

1. 目的	53
2. 方法	53
3. 説明会実施結果	53

## IV. 認知症介護基礎研修モデル事業の実施

---

1. モデル事業の概要	81
2. モデル事業実施後の評価	98
3. 課題の検討	118

## V. 新カリキュラムによる認知症介護実践者研修、実践リーダー研修の課題

---

1. 新カリキュラムによる認知症介護実践者研修	123
2. 新カリキュラムによる認知症介護実践リーダー研修	126
3. 認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修新カリキュラムの課題	128

## VI. 認知症介護実践研修の単位制の導入と評価について

---

1. 単位制導入の検討と課題	131
2. 評価方法の検討と課題	134
3. 今後の計画	137